

# 一般質問通告事項一覧表

平成26年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
1	田中 義人	デジタルアーカイブを用いた倶知安町の歴史の保存について	<p>近年、倶知安町を含むニセコエリアは急速にグローバル化が進み、訪れる外国人観光客も年々増え、併せて外国人住民や事業者も多くなっており、国内有数の地域となりました。そんな今こそ、倶知安の歴史をここに住む皆が理解して、しっかりと後世に残していく事が重要だと考えます。</p> <p>今までは倶知安百年史を代表に、歴史を伝える刊行物が発刊されておりますし、町のHPでは倶知安の歴史（年表）・近代化産業遺産・倶知安百年史・写真で見る くっちゃん豪雪の歴史などが纏められています。</p> <p>また、倶知安風土館においても、ニセコと羊蹄山の自然をテーマにした「自然と環境」のゾーンと、倶知安の歴史と暮らしを紹介する「暮らしと文化」の2つのゾーンがあると紹介されております。そこに今まで集積された収蔵品を有効に活用する事も、非常に重要だと考えます。</p> <p>これらのことから、企画振興課で管理している歴史資料についても、管理は一元化の方が望ましいと思われ、倶知安風土館が主となり資料を再整理し、デジタル化出来る資料はデジタルアーカイブ化を進めるべきだと思います。またデジタル化出来ない収蔵品については、展示する機会を増やす事を前提に再整理するべきと考えますが、町長、教育長の見解を伺います。</p>	町長 教育長	
2	伊達 隆	町道羊蹄登山線（南6線）除雪区間延長について	<p>ここ数年、冬期間登山者またスノーシュー等で森林の中を散策するなど、羊蹄山へ足を運ぶ人々が増加しています。</p> <p>一方では迷惑駐車があり、住民の出入りや除雪車両が終点まで行けず途中で引き返すことも、また付近にはトイレがなく観光地として頭をかかえる状況にあります。</p> <p>除雪区間を延長し、駐車場の確保と冬季閉鎖されているトイレの使用ができるよう、大切な観光資源として環境整備が必要と考えます。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
3	三島 喜吉	今シーズンの流雪溝の管理運用について	<p>最近の倶知安町の積雪はここ数年多く推移しており、昨年・一昨年と1月での流雪溝の投雪禁止の状態が長期間にわたり続いて、住民が不便をきたしておりますが、この原因に水量の不足や投雪時でのモラルなどがあげられておりますが、この構造的な問題を指摘されてもおります。</p> <p>また今年も不便な状態になるのでは、との心配が町民の中から聞かされております。</p> <p>今年の運用に向けて十分な改善がなされているのかお伺いいたしたいと思っております。</p>	町長	
4	〃	冬季五輪のニセコ滑降競技の誘致について	<p>先日、札幌市が2026年の札幌五輪への誘致を正式に表明されました。いよいよ誘致運動に熱をおびてくると思っております。このことについて6月議会での一般質問で取り組みについて質問させて頂いておりますが、この誘致が北海道新幹線及び高規格道路の早期完成にもつながっていくことにより、私たちの町の地域発展に重要な意味をもつものと期待をしておりますし、倶知安町の未来を担う子供たちに夢と希望をもたらすと思っております。私はこれから各種団体の連携のもと町あげでの誘致運動を札幌市と一緒に進めていく必要があると思っておりますが、町長のお考えをお願いいたします。</p>	町長	
5	〃	明日の倶知安町に向かって — 2期8年の福島町政を振り返って—	<p>まず、福島町長が10月に勇退を決意表明され、後進に路を託されました、私たちの町倶知安町の舵取りを任せられ、民間町長の呼び声の中一歩一歩民間手法をとりいれながらこの8年、頑張ってもらったと思っております。この議会が最後の議会であると思っておりますが、この8年間を振り返ってまず所感をお伺いしたいと思います。</p> <p>また、これからの倶知安町の発展を思うとき、倶知安町は宝の山とおっしゃっておられましたが、これからの町のあるべき姿と将来像をお伺いいたします。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
6	森下 義照	まちづくり懇談会について	<p>年1回のまちづくり懇談会が、今年も9月24日～10月29日の間、各地区で開催されましたが、毎年変わりばえのない参加であり、町政側の参加が多く町民を萎縮させたように感じました。</p> <p>また、開催要領も毎回同じ様なやり方であり、会場周辺の町内会と連携が取れていない状況と考えられます。</p> <p>私も、8年連続でそれぞれの地区に参加しておりますが、町民からの質問事項に対し成果はどのくらいと判断し、課題として何が残り、課題を今後どのように精査し対応処理を行い、活力あるまちづくりをする考えがあるのか伺います。</p>	町長	
7	〃	観光客に対する「おもてなし」について	<p>現在、倶知安町では、ひらふ～町内間に冬期間「くっちゃんナイト号」と称して、運行を実施しているが、「おもてなし」について、欠けている部分が見受けられる。</p> <p>せっかく多くの観光客が室の山から町中に出てきて賑わせても帰りはシャッターの閉まったぷらっと（まちの駅）で、寒さを堪えバスを待っている姿が多く見られます。</p> <p>最終の運行までまちの駅内で待機できるようにすることにより、次の意欲を与えるものと思います。また、夜だけでなく昼間もシャトルバスを走らせることにより、美術館や風土館等も案内することが、それぞれの来客確保にも繋がるものと考え、山と町中の連携を保つことが必要と思いますが、お伺いいたします。</p>	町長	
8	鈴木 芳幸	国道393号線の安全対策について	<p>①非常に事故が多発している樺立トンネル入り口付近についてであります。事故の件数まで把握してはおりませんが、事故があればトンネル付近という事であり、最近では道路に構造上の欠陥があるのではないかと言われております。今一度、数々の事故を検証して頂き、事故多発の原因をさぐってもらう必要もあるかと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(次頁へ続く)</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(8)	(鈴木 芳幸)		<p>(前頁より)</p> <p>②北6線交差点の拡幅等について この交差点については拡幅予定があると聞いておりますが、時期的にいつ頃になるのか。また開拓記念碑等の移動についてはいかがでしょうか。</p> <p>③国道276号線と393号線の交差点の拡幅を早急に検討して頂く様に依頼して頂きたいと思っております。大型車には大変な交差点ですので。</p> <p>以上3点、警察署また開発局等への働きかけを宜しくお願い致します。</p>		
9	〃	功績を残し去り行く町長	<p>町議会議員として8期、そして倶知安町長として2期、本当に御苦労様でした。町長本人におかれましては長いようでアツと言うまの8年間で、あったことと思っておりますが、去り行こうとしている今、まだまだあれもこれもと取組、成し得なかった事があるかと思っておりますがいかがでしょうか。</p> <p>またこののち、新町長にあれこれこれだけは是非進めて欲しいと言う様な事はございませんか。さしつかえなければ公表お願い致します。</p>	町長	
10	盛多 勝美	農業の新作物の取り組み	<p>道内で、生薬や漢方薬の原料として需要が高まっている薬用作物を新規に導入し試験栽培に取り組みを始めております。</p> <p>本町も、過去に先輩農業者は、アスパラガスやメロン、またワインの原料のぶどうなど、野菜もいろいろと挑戦してこられました。</p> <p>本町は、主要作物の馬鈴薯など収量、価格とも安定し、植え付けから収穫まで機械化されている現況では、手間がかかる作物の普及は、なかなか難しく課題でもありました。</p> <p>本町農業の将来を見据えた場合、新しい作物の検討も必要ではないでしょうか。また、本町でも、すでに若い農業後継者が新しい作物の栽培に取り組まれておられます。新しい物に挑戦することは、勇気もいるし、苦労もあります。このような取り組みをしている農業者を、是非とも支援して大事に育てていただきたいと考えます。</p> <p>町長のお考えをお聞きいたしたい。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
11	盛多 勝美	プレミアム商品券について	<p>本町の消費を喚起し景気回復を目指し取り組みをしている、プレミアム商品券の11月販売の反響はどうか、7月販売と11月販売は異なると思いますが、どのような業種に使われておりますか。</p> <p>効果なり課題などありましたらお聞かせください。</p> <p>また、買うほうの町民からは、生活費の足しになると好評ですが、早く売り切れるので、買えなかった町民も多く、販売方法を考えてほしいとの意見が多く聞かれます。</p> <p>特に11月の販売は、寒い時期でもあり、高齢者や病弱の人が何時間も外で並んで待つのが大変です。</p> <p>例えば、前もって申し込みをして、後日、抽選、期間を定めて引き換えするように変更は出来ませんか。また、使う有効期間をもう少し延ばしてほしいと、このようなご意見が多く寄せられます。</p> <p>町長のお考えをお聞きします。</p>	町長	
12	笠原 啓仁	「ひらふ坂ロードヒーティング」 電気代の負担方法の内容は	<p>ひらふ坂のロードヒーティングは、この冬から全面稼働するとのことですが。ロードヒーティングに要する電気代は、北電による2年連続の値上げによってかなりの額になるものと思われます。この電気代に関し、以下の点についてお聞きします。</p> <p>①「地元負担」となる今冬期の電気代の総額はどのくらいになると見込んでいますか。</p> <p>②「地元負担」分の電気代は、ロードヒーティング部分を1.5m拡幅したことによって発生することとなったと思います（逆にいうと道有地部分のみのロードヒーティング工事だけだと電気代の「地元負担」は0円だった）。「地元負担」分の負担方法はどのようになっているのでしょうか。その経緯と内容についてご説明ください。</p> <p>③ ①で見込まれる今冬期の電気代の負担方法はどうなりますか。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
13	笠原 啓仁	「原発災害」 訓練の総括と今後の 課題は	<p>1. 10月24日の原子力防災訓練について</p> <p>①先日の行政報告で訓練の記載がありました。内容は、訓練の純粋な事実経過のみです。どのような問題があったのか、今後解決すべき課題は何かなどについては全く触れられていません。その点についてどう総括していますか。</p> <p>②参加者に対するアンケートの結果はどうなっていますか。また、その内容を町としてどう評価していますか。</p> <p>2. 原発災害時の避難計画について 先日の行政報告に対し竹内議員が、</p> <p>イ) 要援護者の計画 ロ) 避難が長期化した場合の計画 ハ) 悪天候の場合の計画の存在 について質疑しました。この質疑に対し防災担当課長は「イとロはある。ハは検討中」と答えました。そこで、以下の点についてお聞きします。</p> <p>①今年6月定例議会では要援護者が入居する施設ごとの避難計画はある（ただし原案段階）とのことでした。要援護者は施設入居者だけではありません。在宅の要援護者に対する計画もあるという理解でいいのでしょうか。あるのでしたら、その内容を具体的にご説明ください。</p> <p>②避難が長期化した場合の計画について 「長期化した場合」とは本町が「帰還困難区域」になった場合を含みます。その場合の計画があるとのことですので、その内容を具体的にご説明ください。</p> <p>③「悪天候時の計画」はいつできますか。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
14	笠原 啓仁	「防犯灯の維持・管理費」 町内会等への支援拡充を	<p>北電による2年連続の電気料金の値上げによってさまざまな影響が出ています。9月議会時点の試算では、役場関連分だけでも2000万円強の支出増になるとのことでした。</p> <p>一方、町内会・自治会等で維持・管理している防犯灯の電気代にも、値上げによる影響が出ています。ここ数年、防犯灯のLED化などで電気代の多少の低減も見られていましたが、2年連続の値上げでそれも帳消しとなり、電気代の支払いに頭を痛める町内会・自治会等が多いと聞きます。</p> <p>町民の安心・安全な生活を確保することは町としての重要な責務であり、そのための大きな役割を果たしているものの一つが防犯灯です。</p> <p>今月12日には町と町内会連合会の話し合いが持たれるようです。現場の声と実情を十分に汲み取り、LED化の促進を含め電気料金の補助率を上げるなど、防犯灯の維持・管理に対する町内会・自治会等へのさらなる支援の拡充を図るべきと思いますが、いかがでしょうか。</p>	町長	
15	〃	「町道等の除排雪」 各種要望等への十分な対策を	<p>今年もいよいよ冬本番となりました。町の除排雪体制・方法に対しこれまで、個人・団体から多くの要望・意見が出されてきました。今冬期の除排雪に関し、以下の点についてお聞きします。</p> <p>①スクールバス路線の安全運行確保について</p> <p>今年の6月定例議会において私は「スクールバス路線の安全運行の確保に向けた対策を」という件名で質問しました（質問内容の詳細は会議録を参照してください）。町長も教育長も「お互いに連携し善処していきたい」との答弁でした。今冬期に向けて課題は解決されるのでしょうか。6月以降の経過と現状についてご説明ください。</p> <p>②ごみステーション部分の除雪について</p> <p>日々の町道除雪の際に道路脇に残される重く固い雪の処理をめぐっては、この議会でも多くの議員から質問が出されています。町側は「一般家庭の玄関先の処理は難しい」との答弁を繰り返していますが、町道脇に設置されているごみステーション部分だけでも残さないようにできないか、との声を聞きます。個数が多いわけではありませぬので、それほど難しい問題ではないように思います。今冬期から実施することはできないのでしょうか。</p>	町長 教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
16	竹内 隆	エリア・マネジメント (地域自主管理) 条例 と受益者分担金につ いて	<p>1. 個別的な形での受益者分担金は可能かについての検証結果は。</p> <p>2. 個別的な受益者分担金が仮にOKだったとしても資金不足となるのでその不足分の捻出はどうか。</p> <p>3. 以上、2点に結論が出るまではエリア・マネジメント条例を正式に停止する必要があるのでは。</p>	町長	
17	磯田 龍一	地域公共交通活性化 再生法について	<p>「地方創世」の一環として、国土交通省は来年度、独立行政法人を通じて地方の鉄道、バス事業者などに出資し、公共交通の刷新を後押しする制度を設ける。</p> <p>補助金による従来の支援策に比べ「資金の使い道の自由度が高くなり、利便性の向上が期待できる」との声もあり、国が地方の公共交通事業者に出資する制度は初めて。</p> <p>財源には財政投融资を活用、鉄道建設・運輸施設整備支援機構を通じて資金提供、機構と地元自治体、企業などが会社を設立して、車両を保有・管理しリースすることで、事業者側の負担を軽くできる仕組みも設ける。</p> <p>(1) 制度の概要は</p> <p>(2) 本町での導入にメリット、デメリットは</p> <p>(3) 郊外(集落)に於ける、通院・買い物難民、高齢者の交通手段として可能か</p>	町長	



番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
18	磯田 龍一	教育現場の課題と取り組みについて	<p>今日、日本の教育現場では、教員と児童・生徒が向き合う時間が少なく、欧米主要国に比べて、勤務時間や仕事量の面で負担が大きいと、経済協力開発機構などの国際機関からも指摘されています。いじめ、不登校の問題については現在、スクールカウンセラーが導入され、成果を挙げていますが、更に福祉の観点から不登校やいじめの問題をはじめ、虐待や貧困といった家庭や生活環境を含めた問題に対峙するスクールソーシャルワーカーの制度があり今年度、全国で 1400人が配置され、深刻化する教育問題へ迅速かつ的確に対応する専門家で、文部科学省はSSW（スクールソーシャルワーカー）をスクールカウンセラー（SC）と並ぶ教育相談の両輪と位置付けている。</p> <p>以上次の諸点について教育長の見解を求めます。</p> <p>(1) 本町の教育現場に於ける課題の認識と実体は  (2) 文科省は、SSWを今後5年間で1万人に、来年度3倍の約4200人に増やすとして予算要求した。本町の対応は  (3) 教育の機会均等の理念を具体化する方策は</p>	教育長	
19	佐名木 幸子	まちづくり町民アンケートについて	<p>第5次倶知安町総合計画の前期基本計画が25年度で終了したことから、後期に向けた見直し作業を進めていることと思います。この件に関して、昨年8月に実施された、町民によるアンケートの結果ですが、回答を返送されました917通の町民の声として重視施策の項目の1位に除排雪88.5%を始め2位に医療、3位に高齢者福祉と続くのですが、また自由意見の中では、真剣に述べている町民からただ参考だけに終わらせることなく、行政も真剣に考えて欲しいとの声がございます。</p> <p>2000人を無作為に抽出した結果、前回より64通少ない返信で、今回も半数にも満たない917人のアンケートですから大切に活用して頂きたいと思います。</p> <p>このアンケートの声を行政として、基本計画にどのように反映させていくのかお尋ね致します。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
20	佐名木 幸子	若い人達が、子ども達が増える町に！	<p>5年に1度の国勢調査を基に本年の総務省がまとめた人口推計によると、14歳以下の子どもの数は1633万人で、33年連続して減少、ここ1年では16万人減ったとあり、北海道も1万人の減少です。</p> <p>政府や地方自治体は少子化対策を掲げるが、一向に歯止めがかかっていない実態が浮き彫りになっております。</p> <p>日本創成会議では、将来人口推計で子どもを産む中心的な年齢層である20歳から39歳の若年女性人口の増減に着目、この先約35年間に若年女性人口が半分以下に減ると推計しており、全国の896市区町村では将来消滅する可能性があるとして指摘しています。対象の1,800市区町村のうち逆に増加すると予測されたのは、わずか15カ所で、この中に石川県川北町が増加率15.8%で全国1位にランクされています。</p> <p>人口、子どもが増えている理由として72%を占める農業中心の村から、バランスの取れた産業発展へ、企業誘致で町になり増加した町税収入を、出産支援を始め、医療、住宅等々、住民の暮らしを手厚くサポートする、さまざまな施策にあて、徹底還元で人口増をもたらしています。</p> <p>本町はここ5年間で子ども人口の増減に大きな差はなく、約2,100人を維持しており、20歳から39歳の女性人口も1,836人と安定しているように感じるかも知れませんが、年々増え続ける高齢者人口を見ますと、将来に向かって今こそ、若い人達、子どもの人口増に対して施策等を真剣に取り組むべきと思いますが、ご見解をお伺い申し上げます。</p>	町長	
21	原田 芳男	建設行政について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、玄関前の除雪などの負担に耐えられず持ち家を処分し、アパートなどに転居したり雪の少ない町に転出する人が近年増えています。冬の暮らしを援助し、我が町に暮らし続けられる施策が望まれています。</li> <li>前にも質問いたしましたが、少しの負担で町が玄関前などの除雪を行う制度をつくってはと思いますがどうでしょうか。</li> <li>2、流雪溝の延長を望む声が多くありますがお考えは。</li> <li>3、町河川八号川沿いの道路は狭く、個人で掛けている橋からの逸脱や川への転落など安全上多くの問題があります。川を一部埋め立てるか、全面暗渠にして拡幅する必要があるではありませんか。</li> </ol>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
22	原田 芳男	合同墓の建立について	合同墓の実現を望む声が多く寄せられています。9月にも質問しましたが、実現を求めます。	町長	
23	〃	銭湯の廃業に伴う町の施策について	<p>今年、東湯が廃業されたことに伴って、町はデイサービスセンターの入浴施設を制限付きの施設として提供しています。</p> <p>利用者は、家庭に入浴設備のないことが条件となっています。</p> <p>しかし、町民の間では施設が狭隘であることで混むと待たなければならない、循環されないことの不安など改善を求める深刻な声が多く寄せられています。お風呂は町民が日々の暮らしの必需の施設であることから施策の見直しが求められます。</p>	町長	
24	〃	社会保障制度の充実を	<p>1、介護保険、後期高齢者保険の上限がそれぞれ2万円引き上げられる条例案が提案されています。消費税増税は、社会保障の充実を伴うはずではないのでしょうか。国民健康保険の負担が所得税の負担を上回る状況が多くなり限界を超えています。財政からの繰り入れを増やし引き下げを検討すべきでは。</p> <p>2、現在0歳児の保育所の待機児が15人程度いると聞いていますが、解消が求められるのではないのでしょうか。</p>	町長	
25	榊 政信	特色ある学校教育をどのように行うか	<p>平成23年度から小学校での外国語活動が実施され、今年度は「学校力向上に関する総合実践事業」や「道徳教育推進校事業」などが行われており、学校教育活動の内容や質の向上に向けた取り組みが進められています。</p> <p>他の地域の取組みとして、後志管内の寿都町では、平成23年度より文部科学省の「教育課程特例校」の指定を受け、英語教育や外国語活動に力を入れており、コミュニティ・スクールの取り組みも始めているようです。 (次頁へ続く)</p>	教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(25)	(榊 政信)		<p>(前頁より)</p> <p>また、TSUTAYAと連携した図書館のある佐賀県武雄市では、公立学校と民間学習塾（花まる学習会）による官民一体型学校を来年度から実施するようです。教育特区や特例校ではなく、現行の学習指導要綱に準拠した中で「メシの食える教育」に取り組んでいくそうです。</p> <p>子どもたちの「生きる力」を育む教育に取り組んでいる本町においても、大勢の外国人が訪れるニセコひらふ地区を有する国際的な町という特色を取り入れた学校教育も必要と思います。海外からの転入生も増えており、通訳者も配置されておりますが、個別の対応だけではなく、本町の特性を生かした教育の在り方や取組みについてのご見解をお聞かせ下さい。</p>		
26	〃	<p>空家対策特措法が成立 対応をどのようにしますか</p>	<p>「空家等対策の推進に関する特別措置法」が成立しました。来年6月頃までに施行になると報道されています。同法は、適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしており、地域住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全、空家等の活用等を目的として定められています。</p> <p>本町で9月に制定した「空き家等の適正管理に関する条例」と同様の趣旨であり、条例の上位となる法律です。今後、同法との整合性を精査し、条例改正に向けた作業を進めることと思いますが、次の件について伺います。</p> <p>①「空家等対策計画」の策定は、どのようにしますか。 ②空家及びその跡地の活用のための対策は、どのようにしますか。 ③国や北海道による補助金や税制上の措置が講じられるようになりそうですが、それらの活用をどのようにしますか。</p> <p>以上、まだ詳細について決定されていないところもあると思われませんが、現時点での考えをお聞かせ願います。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
27	榊 政信	新年度に向けた町政	<p>例年、11月上旬には次年度の予算編成方針が各課に示されて、12月中には、ヒアリングや予算案の提出が行われるなどの予算編成が行われるのが通例です。しかし、年明けには町長選挙が行われ1月末からは新体制での町政運営となりますので、平時の予算組みとはならないと思いますが、平成27年度予算編成についての方針並びに工程概要をお示してください。</p> <p>この8年間の福島町政は、総合計画に掲げる「住民と協働」の基本理念のもと、「一人ひとりを大切にするまちづくり」「質の高い豊かさをめざすまちづくり」「広い視野に立ち交流するまちづくり」をまちづくりの基本姿勢として様々な課題に取り組んできたことと思います。実現できたこと、やり残したことなどがあろうかと思いますが、課題として残り、引き続き取り組まなければならない課題もあると思います。</p> <p>退任にあたり、町長の思いをお聞かせ下さい。</p>	町長	